

CONTENTS

HABIKINO



広報

11 2015
NOVEMBER No.649

2015年11月1日発行

発行 羽曳野市 市長公室 秘書課
〒583-8585 羽曳野市菅田4-1-1
072-958-1111 (代表)

URL <http://www.city.habikino.lg.jp/>
E-mail mailbox@city.habikino.lg.jp



カメラ付き携帯電話のバーコードリーダーで左のQRコードを読み取ってください。「モバイルシティはびきの」をご覧ください(QRコードは㈱デンソーウェブの登録商標です)。

— 今月の表紙 —

放課後のクラブ活動で元気よく練習に励む生徒たち(菅田中学校)。年齢にかかわらず、日々の運動習慣は私たちの健康に大きく影響します。元気に、冬を迎えましょう。

もくじ

- 2 市長挨拶・決算公表
- 5 市民マラソン大会・保育園入園案内
- 6 大阪府知事選挙
- 8 国民年金・かかりつけ健康メール・東洋医療
- 9 きらきらシニア
- 10 特定健診
- 11 図書館だより・サラダボール
- 12 ドリーム×マイスター
- 13 街かどから
- 14 子育て支援センター
- 15 幼稚園・保育園の子育て
- 16 健康ファミリー
- 18 LICはびきの
- 19 制度・お知らせ・スポーツ
- 31 相談窓口
- 32 市民のページ・風流韻事
- 33 社協・警察



羽曳野市

市章は“羽”の文字を抽象的に図案化し、シンブルに表現したもの。鳥のはばたきのような市の雄飛と発展性を示しています。

面積…26.45km²
人口…114,274人(前月比-81)
男… 54,534人
女… 59,740人
世帯… 49,169
(平成27年9月30日現在)

平成26年度の各会計の決算が 第3回定例市議会において認定されました。

一般会計決算

歳 入：395 億 8,725 万円

歳 出：391 億 2,259 万円

実質収支： 2 億 8,280 万円

※ 実質収支：歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いたもの

一般会計の決算は、実質収支が2 億 8,280 万円となり、平成 18 年度から 9 年連続の黒字決算となりました。

これは、市民の皆さまをはじめ、まちづくりに関わる全ての方々のご理解とご協力があつての成果であり、改めて感謝を申し上げます。

しかしながら、少子高齢化による社会保障経費の増加、公共施設の更新問題、多額な債務を抱える国の財政状況の影響などに対応するため、引き続き行財政改革への取り組みが必要です。

今後も、健全性と安定性を確保し、「まちの個性を磨きつづける」市政運営をすすめてまいります。

羽曳野市長 北川 嗣雄

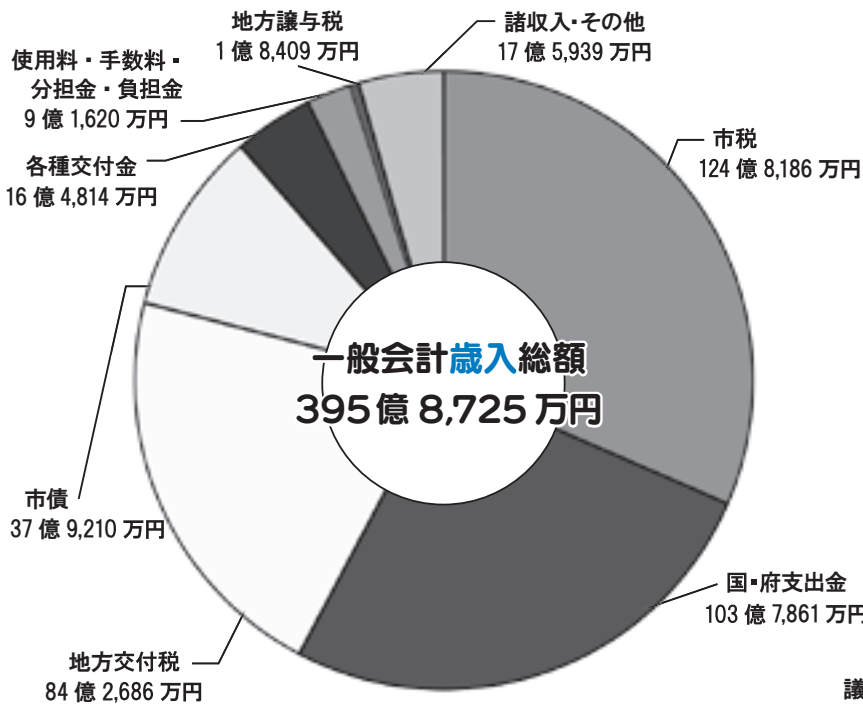
会計別歳入歳出決算額

(千円・%)

会計名	歳入		歳出		歳入歳出 差引額
	決算額	前年度比	決算額	前年度比	
一般会計	39,587,250	91.9	39,122,591	93.3	464,659
国民健康保険特別会計	14,800,815	99.6	14,229,247	101.5	571,568
と畜場特別会計	52,336	22.7	52,336	22.7	0
財産区特別会計	1,862,310	93.9	75,320	60.7	1,786,990
公共下水道特別会計	4,298,676	104.1	4,298,676	104.1	0
介護保険特別会計	9,081,468	107.3	8,952,928	106.9	128,540
土地取得特別会計	214,589	98.7	214,589	98.7	0
後期高齢者医療特別会計	1,482,741	103.9	1,426,393	103.6	56,348

会計名	総収益		総費用		純損益
	決算額	前年度比	決算額	前年度比	
水道事業会計	2,493,363	115.5	1,929,839	105.6	563,524

一般会計歳入歳出決算の内訳



市民ひとりあたりの決算額

※ 平成 27 年 3 月末現在の人口で算出

民生費	158,233 円
公債費	44,819 円
総務費	39,802 円
教育費	33,800 円
衛生費	24,751 円
土木費	23,943 円
消防費	10,158 円
議会費	2,749 円
農林水産業費	1,374 円
商工費	1,248 円
労働費	41 円

主要事業 (平成 26 年度)

学校施設の耐震補強等改修事業
11億 3,780万円

道路整備事業
1億 6,080万円

グレープヒルスポーツ公園
グラウンド改修事業
1,033万円

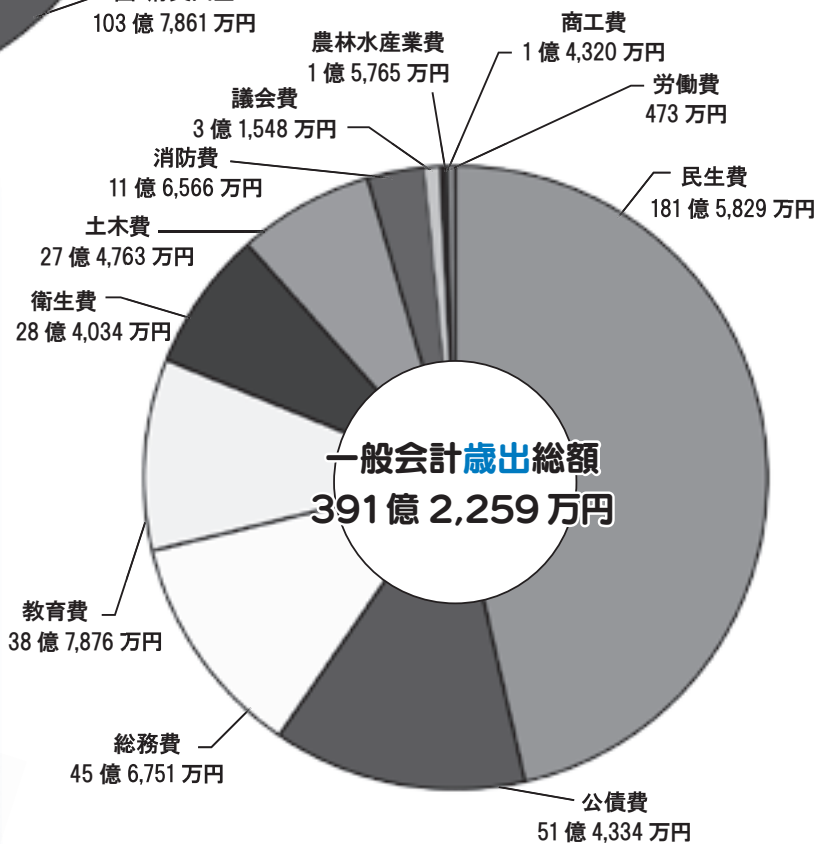
文化財展示室改修並びに
向墓山古墳周辺整備事業
1,634万円

羽曳野市・藤井寺市・
太子町シネマプロジェクト事業
202万円

はびきの中学生
study-O の拡充・充実
215万円

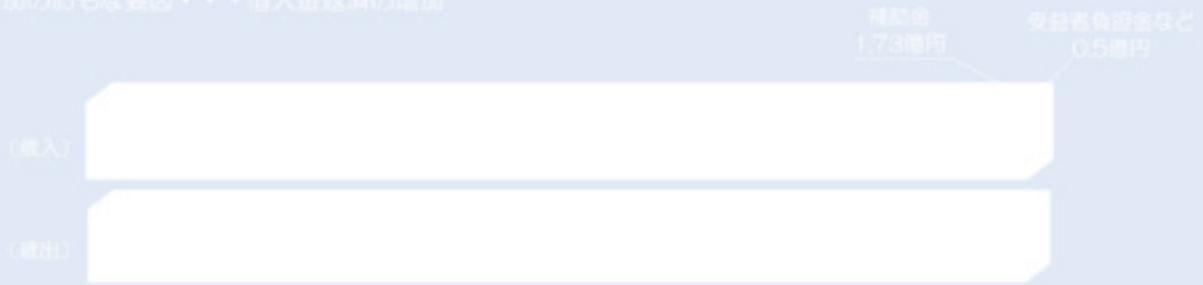
留守家庭児童会の
充実と学習支援事業
421万円

健康優良表彰家庭への
人間ドック費用助成
242万円



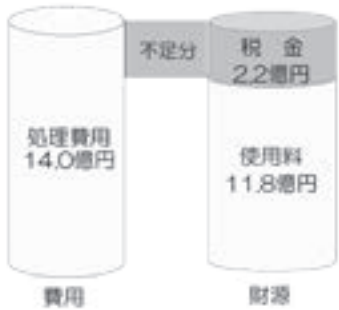
平成26年度 下水道事業の財政状況 ～公共下水道特別会計より～

- 歳入と歳出の決算額・・・42億9,867万6千円（前年度比：1億7,106万2千円、4.1%増加）
- 決算額増加のおもな要因・・・借入金返済の増加

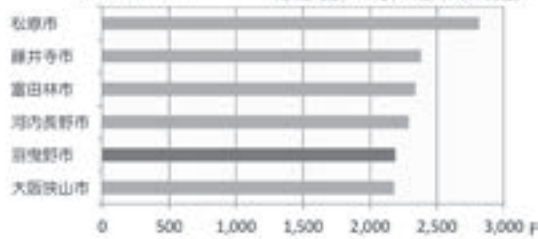


～汚水の処理に要した費用とその財源～

- 家庭や事業所からの排水をきれいにするために要した費用・・・14.0億円
- 本来、使用料でまかなわれるべきものですが、不足したため税金で補てんした金額・・・2.2億円



～使用料の比較～ (家庭用20㎡/月、H27,10.1現在)



下水道への接続にご協力をお願いします！



問合せ 下水道総務課 総務企画担当 ☎958-1111 内線2361

指標でみる羽曳野市の財政状況

■健全化判断比率

「財政健全化法」では、地方公共団体の財政の健康状態を表す「健全化判断比率」を定めています。そして、この健全化判断比率には財政の健全度合いを測る基準が次のとおり2つあります。

- ①早期健全化基準（イエローカード）…財政健全化計画を立てて、自主的な改善努力が必要
- ②財政再生基準（レッドカード）…財政再生計画を立てて、国の関与を受け、確実な再生が必要

指 標	概 要	羽曳野市	早期健全化基準	財政再生基準	
健全化判断比率	実質赤字比率	標準財政規模に対する、普通会計赤字額の比率	赤字額なし	12.22%	20.00%
	連結実質赤字比率	標準財政規模に対する、全会計の赤字額の比率	赤字額なし	17.22%	30.00%
	実質公債費比率	標準財政規模に対する、借入金返済額などの比率	9.9%	25.0%	35.0%
	将来負担比率	標準財政規模に対する、将来に負担すべき実質的な負債額の比率	49.8%	350.0%	—

※ 普通会計：一般会計と土地取得特別会計を合わせたもの

※ 標準財政規模：市税や普通地方交付税など、標準的な状態で通常収入されるであろう一般財源の規模を示すもの

■公営企業資金不足比率

水道や下水道などの公営企業会計には、「資金不足比率」という経営状況をチェックする指標があります。

資金不足比率	対象会計	概 要	羽曳野市	経営健全化基準
資金不足比率	水道事業会計	各会計における、事業の規模に対する、資金不足額の比率	資金不足なし	20.0%
	と畜場特別会計		資金不足なし	20.0%
	公共下水道特別会計		資金不足なし	20.0%

平成26年度決算における本市の各指標は、いずれの基準もクリアしています。

しかしながら、本市を取り巻く財政状況は依然として地方交付税など依存財源に頼った財政運営体質と言わざるを得ず、決して安定した状態にあるとは言えません。そのため、今後も健全な財政運営に取り組まなければなりません。

※ 詳しい財政健全化法の制度の仕組みは、総務省ウェブサイトをご参照下さい。 <問合せ> 総務部財政課 ☎958-1111 (内線 3561)